

令和6年度指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施 設 の 名 称	大畑中央公園	
指 定 管 理 者	団 体 名	一般財団法人むつ市教育福祉振興会
	代 表 者	理事長 櫻井 以文
	所 在 地	むつ市大畑町観音堂25-1
指 定 期 間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日（3年間）	
指 定 管 理 業 務 の 概 要	管理業務の目的 条例に掲げる施設の設置目的を達成するために計画的かつ効率的な施設管理を実施するとともに、市民の健康増進並びにスポーツの振興により生活や文化の向上に寄与することを目的とする。 管理業務の範囲 ・施設運営に係る使用の許可及び利用料金の徴収に関すること。 ・大畑中央公園の施設管理維持に関すること。 ・大畑中央公園の広報及び利用促進に関すること。 ・スポーツを通じて地域住民の健康及び体力の向上のための施設提供に関すること。 ・上記に掲げるもののほか施設管理上必要と認められる業務に関すること。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減（②－①）
収 入 合 計（A）	51,103	51,085	▲18
うち利用料金額	2,210	1,133	▲1,077
うち指定管理料	48,803	49,849	1,046

支 出 合 計 (B)	5 1 , 1 0 3	5 2 , 7 1 3	1 , 6 1 0
う ち 人 件 費	2 4 , 6 1 6	2 6 , 1 6 3	1 , 5 4 7
収 支 差 (A - B)	0	▲ 1 , 6 2 8	▲ 1 , 6 2 8
市 へ の 納 入 金	0	0	0
計画額と比較した 実績額の増減理由	○収入について 計画と実績の増減については、「2 収支の状況」及び「3 施設利用の状況」に記載した表のとおりである。 「2 収支の状況」中、利用料金額収入は伸び悩み、計画額 2,210 千円に対し 1,133 千円の収入となり、達成率は 51.3%に留まった。 「3 施設利用の状況」中、野球場、庭球場においては利用者数が前年より増加したものの、全施設において計画人数には至らなかった。 野球場については、利用者数は、計画人数 2,400 人に対して 2,298 人の利用であり達成率は 95.7%、利用料金収入は、計画額 190,000 円に対して 120,890 円であり、達成率は 63.6%であった。前年と比べると利用者数は 79 人、利用料金収入は 7,100 円増加した。これは、10 月、11 月の一般利用が増加したことが要因となっている。 次に庭球場については、利用者数は、計画人数 600 人に対して 88 人の利用であり達成率は 14.6%、利用料金収入は、計画額 70,000 円に対して 15,750 円であり、達成率は 22.5%であった。前年と比較すると利用者数及び利用料金収入ともに増加した。10 月後半まで暖かい日が続き一般の利用が増えたことが要因である。 次に陸上競技場については、利用者数は、計画人数 4,300 人に対して 2,693 人の利用であり達成率は 62.6%、利用料金収入は、計画額 150,000 円に対して 76,850 円であり達成率は 51.2%であった。前年と比べると利用者数は 1,337 人減少し、利用料金収入は 68,670 円減少した。トラック及びフィールドの一般利用件数、大会利用ともに減少したことが要因となっている。 最後にプール施設については、利用者数は、計画人数 9,000 人に対して 5,774 人の利用であり達成率は 64.1%、利用料金収入は、計画額 1,800,000 円に対して 919,310 円であり、達成率は 51.1%であった、前年と比較すると利用者数は 610 人減少し、利用料金収入は 18,790 円減少した。なお、区分別の利用状況においては、児童・生徒の利用減少が特に大きく見られた。 ○支出について 「2 収支の状況」中、支出合計の実績額が計画額より		

	1,610 千円増となった。要因は、人件費実績額が、計画額より 1,547 千円増となったことが主な要因となっている。定期昇給及び11月から嘱託職員を1名採用したことが増加の要因である。 燃料費については、年度初めから燃料費の高騰が懸念されたため、プールで使用する灯油については、プール内の温度管理を徹底したことにより、執行額を抑制することができた。 電気料については、電力会社のDRサービスに参加し節電に取り組んできたが、高騰が大きく影響し予算額を超過した。
--	---

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②－①)
利 用 者 数	野球場	2, 4 0 0	2, 2 9 8	▲ 1 0 2
	庭球場	6 0 0	8 8	▲ 5 1 2
	陸上競技場	4, 3 0 0	2, 6 9 3	▲ 1, 6 0 7
	プール	9, 0 0 0	5, 7 7 4	▲ 3, 2 2 6

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（㊥・無）

意見箱を設置して利用者の声を収集し、利用者ニーズの把握に努めた。また、ホームページのお問い合わせフォームに寄せられた意見や要望に対応した。

意見箱で受けた意見等については、スタッフ全員で共有し検証しており、改善すべき部分は具体的な対策を持って対応した。

意見箱に寄せられたご意見（記載は一部）

- ・子ども用プールもあって助かった。監視員もいて安心して遊ばせられた。
- ・トイレにウォッシュレットが欲しい。
- ・シャワーの温度が高い。
- ・シャワーのフックを上にもつけてほしい。（2か所）
- ・プールサイドで食べ物はダメだが、休憩室があったので助かった。
- ・足ふきマットがいつも替えてあり、気持ちよく使わせていただいている。

意見箱等とは別に、7月下旬から3週間にわたり利用者アンケートを実施した。

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
スポーツ振興事業・水泳教室	883	654	551
スポーツ振興事業・着衣水泳教室	22	11	31
スポーツ振興事業・ノルディックウォーキング	24	27	47
スポーツ振興事業・グラウンドゴルフ教室	82	30	87
スポーツ振興事業・熟年軟式野球大会	237	40	57
スポーツ振興事業・少年軟式野球大会	125	45	82
スポーツ振興事業・冬のイベント	141	60	87

5. 個別項目評価※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B

評価項目		自己評価	市の評価
	③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況			
	①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
	②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
	③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況			
	①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
	②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
	③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
	④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況			
	①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
	②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
	③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
	④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

施設を管理運営するにあたり、感染症等に対する水際対策を徹底するため、職員においては、毎日の検温を実施するとともに、体調不良のときは躊躇なく休むことを徹底した。

事業経営については、指定管理者として使命である施設の活性化、サービスの向上、コストの削減について取組んだ。

施設の維持管理については、日常点検の充実を図った。修繕費は、プール設備については経年に伴う補修があったものの、大きな修理はなかった。

年度当初から燃料費の高騰が懸念されたことから、プールで使用する灯油につい

ては、職員間で常に節約に努めて縮減を図り、当初の計画より 317,976 円の節約をすることができた。

また、電気料については、2,550,000 円の予算額に対して、3,491,131 円の執行となり 941,131 円の予算超過となったことから、超過分について指定管理料の追加支給を受けた。

広報活動については、施設利用案内チラシを作成し公共施設並びにむつ市内の幼稚園及び小学校へ掲示等の依頼をした。

職員の教育訓練については、施設利用者の安全を最優先に考えた施設運営と維持管理を適正に行うため、プール開設前と夏休みの繁忙期前に研修を 2 回実施した。条例・規則及び業務仕様書等の読み合わせをして業務内容について共通理解を図った。また、事業計画のとおり消防訓練及び救助訓練を実施して、職員の安全対策の構築とともに資質向上とサービス向上の意識づけを高めた。

資格取得については、1 名の公認スポーツ施設管理士を養成することができた。

自主事業は、7 つの事業を実施した。

水泳教室は、5 月から実施した。プール施設の利用の機会を増やすとともに、健康増進及び水泳の競技人口増加につながるきっかけづくりとして役割を果たした。水泳教室の参加者数は前年と比べると 248 人減少して、プール利用者数全体の約 16%を占めた。

7 月には着衣水泳教室を実施した。防災教育としての側面があり、参加者に水難への備えについて伝えることができた。ボーイスカウト団体の参加申し込みがあり、ニーズの高さを実感した。

ノルディックウォーキングは、5 月、7 月、9 月の 3 回実施した。5 月は公園内をウォーキング、7 月は大畑中央公園から木野部峠を越えてむつ市下北自然の家までをウォーキング、9 月は大畑中央公園から薬研橋駐車帯までのコースを設定してウォーキングを実施した。事前に実地踏査を行い、危険箇所や歩行時間等の確認を行うとともに、当日は職員 6 人体制で安全配慮に努めた。

グラウンド・ゴルフ教室は、5 月～10 月の毎月第 2、第 4 水曜日に実施した。今年度は新規参加者の獲得に向け、初心者には個別で練習時間を設けるなどして教室を行った。参加者は、回を重ねるごとに楽しさが増し、競技中は大いに盛り上がった。雨で 3 回中止になった影響で前年より利用者数が減少した。

熟年軟式野球大会においては、今期よりむつ市内からチームを募り、熟年リーグ

戦（満 40 歳以上、満 60 歳未満）を開催した。大会は、5 月から 10 月の期間で、4 チームによる総当たり 2 回戦（6 節全 12 試合）で実施した。

少年軟式野球大会は、あさひな杯・第 6 回を開催した。むつ下北地域のスポーツ少年団 8 チームによる、2 日日程のトーナメント戦の開催に向けて、熱中症予防対策等十分な措置を講じて準備したが、雨などによる天候不順のため、1 日日程に変更して開催した。

冬期間には、2 回目となる冬のイベントを開催した。野球場をメイン会場として、雪だるまを作り、雪灯籠やイルミネーションで飾り付けをしてフォトスポットとして開放した。寒さが厳しく来場者は 141 人で昨年より 111 人減少した。当日はあげパンを販売し、400 個を完売した。来年以降も、来場者に楽しんでもらえるよう会場内での遊びや販売等創意工夫をして開催したい。

今後も、これまで当施設を管理してきた経験を活かしながら、安心・安全で効率的かつ、効果の高い施設運営を行い、より成果を高めたい。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価を C とした項目についての指導内容も記載すること。

- ・陸上競技場およびプールにおいて前年度より利用者数が減少したが、公共施設や教育機関への広報活動で利用促進を図るとともに、自主事業も積極的に実施することで施設の有効活用と P R 活動に努めた点を評価する。
- ・軽微な補修は、自己修繕で対応するなど修繕料の節減に励んだ点を評価する。
- ・職員管理については、各種訓練を実施することで職員の資質および意識向上に取り組むほか、施設管理に必要な資格取得についても積極的に受講している点を評価する。今後も職員教育に積極的に努めていただきたい。